

横浜市立錦台中学校

令和3年度 学力向上アクションプラン

1 令和3年度 学年・教科等としての具体的取組

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- 教職員一人ひとりが本校学校教育目標の具現化を目指し、生徒とのふれあいを大切にし、教職員がお互いに豊かにコミュニケーションを図り、「チーム」として機能する活力ある学校づくりを目指します。
- 「わかる授業」「楽しい授業」の展開を通して、学ぶ意欲の向上と基礎基本の定着を目指します。
- 人権を尊重し、互いの良さを認め、「相手の立場になって考える」「相手へのいたわりや、優しさの心を持つ」生徒を育みます。
- 相談活動を充実させ、心身が健康な生徒の育成と安全な学校生活を目指します。
- 学校評価を生かし、保護者や地域と協働し、「まち」と共に歩む学校づくりを目指します。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 (学習指導)	①新学習指導要領に基づき、個々の教材研究や授業研究等を重ね、「わかる授業」「楽しい授業」を目指して工夫・検討を行う。 ②少人数指導とITを導入し、個に応じた指導を充実させる。 ③指導の過程や成果を適切に評価し、指導の改善を行うことで生徒の学習意欲の向上に生かす。
担当	学習指導部

2 令和3年度 学年・教科等としての具体的取組

令和元年度 学力 2年 1年 3年 生活意識 2年 学習意識 2年 3年

平成30年度 学力 2年 1年 3年 生活意識 2年 学習意識 2年 3年

(1) 学力の概要と要因の分析

令和元年度の結果より、社会・理科においては横浜市の平均を上回り、外国語はほぼ平均的な値であった。一方、数学においては、市の平均を下回っている。学力層の割合は、社会・理科においては学力層Aの割合が市の平均より大きく、他はほぼ同等となっている。学習意識調査に関しては、市平均を下回っているものも多いことから、習得・活用・探究というプロセスを通して、知識・技能の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する「分かる授業」づくりを追及していくことが求められる。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：「書く能力」は市平均をやや上回っているが、他の能力、意識は市平均を下回っている。
- 社会科：2・3年生ともに「資料活用の技能」の正答率が、市平均を上回っている。
- 数学科：全体的に市平均程度または平均を下回っている。
- 理科：学習意識は高いものの、科学的思考力の正答率が市平均を下回っている。
- 外国語科：全体的に市平均程度、または平均を若干上回っている。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学力は、社会科において向上が見られた。生活意識と多くの学習意識では市平均を下回っているが、理科の学習意欲に向上が見られる。学力と意識に相関関係が見られ、「わかる授業」「楽しい授業」の展開をますます進めていくことが求められる。研究授業や討議会、授業見学等を重ねて各教科で工夫・検討を行い、職員全体で生徒の学ぶ意欲の向上と、学習活動の活発化を進めていく。

3 令和3年度 学年・教科等としての具体的取組

○ 分かる授業・楽しい授業の展開

<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲が高まるように言語活動の設定やグループ活動の方法を工夫する。 ○授業時に養うべき資質・能力を明確にし、主体的に深い学びができるように授業展開を工夫する。 	<p>技術・家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校や他教科での既習事項や生活体験・興味関心を把握し生徒の資質・能力を踏まえ題材設定を行う。 ○班での活動や実習、レポート作成等、表現活動を、多く取り入れた授業展開の工夫をしていく。
<p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着のため、プリント課題を行う。 ○授業の1時間の見通しをたてるため、単元の導入に映像や写真などの資料を活用して関心を高める。 ○資料を読み取り、文章で表現することに取り組む。 	<p>外国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unit 全体で子どもに身に付けさせる力を明確にして単元計画、評価計画を立てる。 ○AET との授業や、アクティビティを通して狙いとなる項目に繰り返し触れ、生徒自らが気づく授業を意識する。 ○クラスメイトやAET との会話を大切にし、伝わる楽しさを実感できる授業づくりを目指す。
<p>数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数学的活動を重視し、身近な生活と関連付けた学習を意識した授業の展開を心掛ける。 ○基礎学力の定着のために反復練習を行う。 ○教科会を密に行うことでお互いの授業力向上を図る。 	<p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒会・学級活動からよりよい人間関係を築かせ、豊かな人間関係から相手の考え方や思いを尊重する姿勢を身につけさせるとともに、行事を通して協力する態度を育てていく。
<p>理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本事項の定着、実験操作の習得のために反復学習を行う。 ○自然事象の課題について、予想や思考する場面を積極的に設け、自分の考えを表現する力をつける。 ○主体的に探求しようとしたり、問題解決しようとしたりする態度を養う。 	<p>個別支援学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の自己実現を体現化するために個別教育計画を作成し、日々の指導の充実を図る ○生徒自身が目標を持って意欲的に取り組めるような活動となるように工夫する。 ○心身の健康と安全に配慮し、学習環境を整える。
<p>音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 ○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 	<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○探求的な学習を通して、よりよく課題を解決する力、自己の生き方を考えるための資質・能力の育成を目指すとともに、積極的に社会に関わろうとする態度を養う。
<p>美術</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫の視点に基づき「造形遊び」の観点から見た課題設定を行う。 ○効率的な作業が行えるように参考作品の準備や、生徒間の作品鑑賞を充実させる。 	<p>保健体育科は「体育健康プラン」に、 道徳は「豊かな心の育成推進プラン」に記載する。</p>